<table>
<tr><td rowspan="2">施設名</td><td rowspan="2">麻生市民館 岡上分館</td><td>活動年数</td><td>昭和 41 年 5 月～</td></tr>
<tr><td>ﾒﾝﾊﾞｰ数</td><td>職員５名</td></tr>
<tr><td rowspan="3">活動紹介</td><td>活動場所</td><td colspan="2">岡上分館、岡上地域</td></tr>
<tr><td>活動日</td><td colspan="2">通年（年末年始、休館日を除く）</td></tr>
<tr><td colspan="3">内容
麻生市民館岡上分館は、周りを町田市と横浜市に囲まれた全国的にもめずらしい飛び地にあり、大正時代は岡上分教場、昭和 22 年からは柿生小学校の岡上分校があった場所です。館内にはその歴史を紹介するパネルも掲示されており、地域の歴史とともに歩んできた施設です。今年度も、岡上地域（歴史・文化・自然など）を知り、発信する事業を行い、地域の方の学びと交流の場として親しまれています。

【令和５年度事業紹介】
１．市民自主企画事業「親と子のサードプレイス」
２．市民自主企画事業「ボッチャを通じたコミュニティづくり」
３．市民エンパワーメント研修「カイコを通して学ぶ　岡上の歴史」
４．市民エンパワーメント研修「地域の民話を学び　絵やことばで残そう」
５．シニアの社会参加支援事業入門コース　「カリンバを弾こう」
６．家庭･地域教育学級「ともそだち～子育てのちょっと先を見通そう！」

※社会教育施設として「集い・語り合い・つながり合い」の部分を大切に、幅広い世代交流が行われるような講座を企画しています。
※市民の方々が地域のことに目を向けると共に、一人一人の持てる力を引き出し、地域とつながり、学びを還元していくことができる講座づくりに努めております。</td></tr>
<tr><td>課題</td><td colspan="3">岡上分館を幅広い世代の方々に知っていただき、利用してもらうこと
サークルや団体同士が交流を持ち、会の継続や発展につなげていくこと</td></tr>
<tr><td>連絡先</td><td colspan="3">分館長　相澤　悟　　住所　川崎市麻生区岡上３－１５－５
電話 044-988－0268／FAX 044-986-0472</td></tr>
</table>

【カイコを通して学ぶ岡上の歴史】 市民エンパワーメント研修･1

まちで桑の葉探し

東光院から日本民家園に移設
された蚕影山祠堂の見学

かつて岡上地区で盛んだった養蚕を切り口に、地域の歴史について学びました。
実際にカイコを飼育し、その生態についても学ぶことで、理解を深めました。

【地域の民話を学び　絵やことばで残そう】 市民エンパワーメント研修･2

受講者が協力し合って、３作品を完成させました。「岡上の昔ばなし・紙芝居」（３作セット）として、麻生図書館や岡上分館で貸出予定です。

【ボッチャを通じたコミュニティづくり】 市民自主企画事業

障がいがあってもなくても、
皆で楽しめるのがボッチャの魅力！

ボッチャボールを使った体操は、脳トレにもなります!

【親と子のサードプレイス】 市民自主企画事業

不登校・登校しぶりの子を持つ保護者が悩みを共有し、
「学校へ行かない」という選択も子どもの個性と捉え、
親の自分を責めないで、と話し合いました。

名称	**岡上分館；岡上郷土誌資料コーナー**	活動年数	17 年 平成 18 年開設
紹介	**開館日**	通年（第 1、第 3 月曜と年末年始を除く）	
	・旧岡上郷土誌会（会長 宮野薫、当時）では平成 18 年（2006）に岡上地区の皆様の協力を頂き、岡上の歴史・文化を網羅した**『郷土岡上』**を発行しました。郷土誌会の「収集した全資料は川崎市に寄贈して一般の利用に供したい、岡上の資料は岡上の地で保存されることを願う」といった思いを岡上分館が受け止め、分館の図書室に岡上郷土誌資料コーナーが設置されました。 ・ここには岡上地区の歴史・文化調査には必須の資料類が集積されています。収集資料のまとめとして編集発行された冊子『郷土岡上』が道案内です。 ・最近の郷土誌会の活動・学習の成果も、引き続きファイルしております。 ・利用時間は午前 9 時から午後 4 時 50 分です（お問合せください）。		
連絡先	住所　〒215-0027 麻生区岡上 3-15-5 麻生市民館 岡上分館２階 図書室内 電話　044-988-0268		

団体名	**岡上郷土誌会**	活動年数	12 年
		会員数	10 人
活動紹介	活動場所	おもに麻生市民館岡上分館。テーマによっては現地	
	活動日	定例研究会は第 3 金曜日午後 1 時 30 分から	
	旧岡上郷土誌会では平成 18 年（2006）に岡上地区の歴史的な史資料を収集して、テーマ別の 100 を超えるファイルを作成しました。それらの資料の数々は岡上分館の郷土誌資料コーナーに収められ、一般に公開されています。当会はそれらの資料を引継ぎ、活用しつつ「岡上の歴史と文化、自然に親しむこと、また次世代に伝えていくこと」（会則より）を目的しております。 おもな活動 （1）岡上関連の資料類を収集・整理し、資料コーナーに追加保全する。 （2）学習会や講座などを開催し、その記録集を刊行する。 活動にあたっては、岡上分館をはじめ地元町会や学校等との協力・協働を大切にしています。		
2023 年度の活動	・昨年度から引き続き岡上神社の調査を進め、神社総代のご協力のもと申請書類をまとめました。12 月末には旧剣神社の石造不動明王坐像など 10 件すべてが第 6 回川崎市地域文化財として決定されました。 ・2023 年 11 月 3 日「**岡上の地域文化財探訪**」を行いました（主催 おか庭クラブ-令和 5 年度麻生区市民提案型協働事業）。またそれに先立ち石造物の再調査をし、パンフレットを作成しました。 ・梶家の市地域文化財の古文書について文化財課の調査があり同席しました。		
代表	梶 睦子		
連絡先	住所 〒215-0027 麻生区岡上 3-15-5 岡上分館気付 事務局電話　070-6426-6123（石井）		

2024 年 1 月 25 日 記

団体名	和光大学・かわ道楽	活動年数	21 年
		ﾒﾝﾊﾞｰ数	６人

活動紹介	活動場所	岡上和光山緑の保全地域とその周辺、鶴見川大正橋付近
	活動日	毎月第１土曜日、第４日曜日

活動を始めた背景

私たち“かわ道楽”は、鶴見川源流保全活動がきっかけで始まった、和光大学周辺の自然環境を保全している学生サークルです。

活動内容

主に雑木林と小川の整備や、希少生物ホトケドジョウの保護・繁殖を行っています。また大学周辺の環境保全をする上で、地域の方々との交流を不可欠と考え、さまざまな地域イベント・お祭に参加させていただいています。

さらに、私たちの活動は広がり、岡上での植生調査や水質調査に加えて、魚類調査、地域の子どもたちを対象とした自然観察会や鶴見川魚捕り体験教室も行っています。鶴見川流域ネットワーキング、鶴見川源流ネットワーク、あさお流域ネットワークの活動に参加して、源流から河口まで鶴見川流域の多くの市民の方々と連携して活動しています。毎年麻生川の冬鳥調査も行っています。

2023 年度のトピックス	三輪緑山の児童館との連携が進むなど、新たな活動が増えています。
課題	コロナ感染対策のために新人歓迎行事が制限されていた時期が尾を引き、人数が少なく、一方でコロナ明けで地域の色々な方から協力要請があり、忙しい状況です。
参加上の案内	道楽されたい方はどーぞ！動きやすくて汚れても良いかっこうで。 ✓ 体験参加者募集中（受入れ態勢あり） ✓ 寄付金などの受付中　✓和光大学に入学してください 興味のある方は下記へご連絡ください。
代表者	名前 樋田 智徳　住所 〒195-8585 町田市金井町 5-1-1 和光大学 電話 044-989-7777 内線 4311　E-mail u22e094h@wako.ac.jp
連絡先	名前 菅沢志大　住所 〒195-8585 町田市金井町 5-1-1 和光大学 電話 044-989-7777 内線 4311　E-mail u21t075a@wako.ac.jp ホームページなど https://www.instagram.com/wakokawa2023

2024 年 1 月 25 日 記

団体名	NPO 法人 かわさき自然と共生の会	活動年数	20 年
		ﾒﾝﾊﾞｰ数	100 人

活動紹介

活動場所	岡上梨子ノ木特別緑地保全地区とその周辺
活動日	毎月第２日曜日 午前 10 時から約２時間

活動を始めた背景

2000 年「岡上地区緑の保全地域の指定申出書」を川崎市長に提出し、岡上梨子ノ木緑地を清掃、整備して、2004 年に特別緑地保全地区指定実現させたことに始まります。

活動内容

⑴ 緑地内遊歩道整備、下草刈り、間伐、枝打ち、植樹、いこいの広場維持、ヤマユリ植栽普及会の指導のもとヤマユリ再生。

⑵ 周辺清掃、不法投棄防止の取組み、処理。

⑶ 自然観察会、コンサート、研究会、感謝祭、親睦会、交流会開催・支援。

⑷ 市民館岡上分館、こども文化センター、和光大学、小学校、幼稚園等との交流・支援。

⑸ 地域のみどりの団体との連携。

⑹ 行政との協働。

⑺ 「ともいき圃場」 野菜、花栽培、周辺清掃。

⑻ 総会、理事会の開催。

⑼ 会報『ともいき』発行。

その他、環境保全と周辺美化に関すること。

2023 年度のトピックス

地域の若い皆さんに岡上ワークキャンプを開催していただき、ランドマークとなっている茅葺き屋根がついに復活しました。今年も和光大学芸術学科のサトヤマアートサンポにも協力しました。

課題

行政との協働。地域との協働。世代交代。

参加上の案内

会員でない方の参加も心から歓迎しています。会員募集中。入会金 1000 円、年会費 1000 円です（作業用具代、年２度の懇親会、ニュース「ともいき」発行、配布などに使用）。年に３回のワークキャンプのみの参加も歓迎です。

代表者

名前 堂前雅史 住所 〒195-8585 町田市金井ヶ丘 5-1-1 和光大学
電話 044-989-7777 内線 4311 E - mail dom@wako.ac.jp

連絡先

名前 藤田昭雄
住所 〒215-0027 神奈川県川崎市麻生区岡上 6-10-24
電話 080-4066-7301
E - mail okagamitomoiki@outlook.com

2024 年 1 月 22 日 記

<table>
<tr><td rowspan="2">団体名</td><td rowspan="2">和光大学地域連携研究センター
地域・流域共生フォーラム</td><td>活動年数</td><td>15 年 3 ヵ月</td></tr>
<tr><td>ﾒﾝﾊﾞｰ数</td><td>センター員7名、職員1名</td></tr>
<tr><td rowspan="3">活動紹介</td><td>活動場所</td><td colspan="2">和光大学キャンパス、岡上地域、鶴見川流域、その他</td></tr>
<tr><td>活動日</td><td colspan="2">オフィス開室は平日、活動日は週末も含み不定期</td></tr>
<tr><td colspan="3">2008 年度に和光大学の取組「流域主義による地域貢献と環境教育」が文部科学省「質の高い大学教育プログラム(教育 GP)」に選定されました。この実施・推進拠点として同年、学内に設置した地域・流域共生センターを、2016 年の和光大学地域連携研究センター設立に伴い改組した学内機関が、本フォーラムです。
文部科学省『人材認証制度のニーズ及びマッチングに関する調査貢献』調査報告書(2014)でも、先進事例として紹介されています。
私たちは学内外に向けて、おおむね次の活動を行っています。
・「地域・流域プログラム」を通じた実践的な環境教育の推進
全学の学生を対象に、本学の教育理念とカリキュラム横断型の単位取得制度を生かし、持続可能な社会の「新しい公共」を支える環境シチズンシップ教育を推進し、日本でここだけの「流域環境士」資格を認定しています。環境教育指導者養成の資格認定講習会を年に数回開催し、都市部ならではの「足もとの自然」へのまなざしと、安全に楽しく自然と交流し地域の自然の質を高める実践力を養成します。
・「地域・流域共生フォーラム」による地域貢献と活動支援
学生と地域の住民・行政・NPO をワンストップで結ぶ拠点・窓口です。自然環境の保全や生物調査、川の掃除など学生の自主活動支援のために機材の貸し出し等を行うほか、行政等と連携して、子どもたちのための教育支援活動や自然観察会などの社会教育機会を、学生とともに地域に提供しています。</td></tr>
<tr><td>2023 年度のトピックス</td><td colspan="3">慎重な感染対策を行ったうえで、親子自然体験学習(麻生区共済事業)や、RAC(川の指導者養成)講習会、環境教育プログラム「プロジェクト WILD」、「プロジェクト WET」のリーダー口講習会、チェーンソー・刈払い機の安全講習会を開催しました。</td></tr>
<tr><td>課題</td><td colspan="3">地域・流域プログラムおよび各種資格講習会の、より効果的な広報を通じた受講拡大。流域環境士有資格者の活躍の場づくり。川の生き物観察等の野外活動については、今後も十分な感染対策を工夫しながら引き続き開催したいと考えます。</td></tr>
<tr><td>参加上の案内</td><td colspan="3">年に数回行っている各種の環境教育指導者資格認定講習会は、市民の方も受講可能な場合があります。(テキスト代実費)ご関心のある方は、地域・流域共生フォーラムのホームページやブログ記事をご参照下さるか、直接お問い合わせください。
https://www.wako.ac.jp/cooperation/research-center/region.html</td></tr>
<tr><td>代表者</td><td colspan="3">名前　堂前雅史
住所 〒195-8585　東京都町田市金井ヶ丘５－１－１和光大学
電話 044-949-0003　FAX 044-949-0003　E - mail　centr@wako.jp</td></tr>
<tr><td>連絡先</td><td colspan="3">名前 齋藤透　住所 〒195-8585　東京都町田市金井ヶ丘５－１－１和光大学
電話 044-949-0003　FAX 044-949-0003　E - mail　centr@wako.jp</td></tr>
</table>

2024 年 1 月 25 日 記

<table>
<tr><td>団体名</td><td colspan="2">麻生区クールアース推進委員会</td><td>活動年数</td><td>21 年</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>ﾒﾝﾊﾞｰ数</td><td>13 人</td></tr>
<tr><td rowspan="3">活動紹介</td><td>活動場所</td><td colspan="3">麻生区</td></tr>
<tr><td>活動日</td><td colspan="3">毎月第 1 水曜日（定例会）</td></tr>
<tr><td colspan="5">活動を始めた背景
麻生区区制 20 周年記念事業として、区役所屋上に太陽光発電設備の設置が決まったことを契機に委員会が発足。区役所と協働で活動を進め、今年 21 周年を迎えました。
活動内容
麻生区民に自然エネルギーの活用及び温室効果ガスの削減など地球温暖化防止対策を普及させること等を目的としています。
・委員会の開催（月１回）
・イベント　あさお子育てフェスタ「おひさまと遊ぼう」、「太陽光発電設備設置記念イベント」、「夏休み環境イベント」「区民まつりへの出店」など
・小学校、保育園、小学校の寺子屋等への出前授業、大人向け出前講座
・あさお自然エネルギー学校（講座等）
・麻生区役所屋上太陽光パネル見学希望者の受け入れ
・ニュースレター「おひさまだより」の発行　　ほか</td></tr>
<tr><td>2023 年度のトピックス</td><td colspan="4">● 2023 年８月夏休み環境イベント「ソーラーエコハウスを作ろう」を実施。
● ８月に「寺小屋くりぎだい」、10 月に「寺子屋あさお」に出前講座を行い、小学生を対象として一緒に地球温暖化について考えました。
● 11 月あさお自然エネルギー学校「家計を直撃！電気代は下げられる?!～がまんしない温暖化対策」開催。初めてグループディスカッションの手法を取り入れ、参加者間の意見交換を行い、交流を図りました。
● 2024 年 2 月協力団体等に呼びかけを行い、21 周年記念イベント「気候変動と日本」上映会を開催予定。ゲストトークおよび参加者による意見交換を行います。</td></tr>
<tr><td>課題</td><td colspan="4">活動のボリュームに対する市民委員の不足が課題です。
小学校の出前プログラムに申し込みのない現状が課題です。
SNS の活用ができていません。担い手を募集中です。</td></tr>
<tr><td>参加上の案内</td><td colspan="4">■ 会員募集中
興味のある方は下記へご連絡ください。</td></tr>
<tr><td>代表者</td><td colspan="4">名前　児嶋　脩（委員長）</td></tr>
<tr><td>連絡先</td><td colspan="4">名前　林　恵美（事務局）　住所 〒215-0006　麻生区金程 1-13-22
電話 299-6460　FAX 299-6460　E - mail emi814@sound.ocn.ne.jp
麻生区ホームページから「麻生区クールアース推進委員会」で検索</td></tr>
</table>

麻生区クールアース推進委員会

かわさきＳＤＧｓ
パートナー

川崎市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

平成 14 年(2002 年)、麻生区区制 20 周年記念事業として、区役所の屋上に太陽光パネルが設置されたことを機に委員会が発足しました。

地球温暖化問題の解決に向けて、区役所と協働して自然エネルギー、省エネルギーの普及啓発活動を行っています。

麻生区役所屋上の太陽光パネル

月 1 回、区役所で委員会を開催しています。見学の希望、当委員会への質問など気軽にお問い合せ下さい。
麻生区 HP に紹介ページを掲載しています。

麻生区クールアース推進委員会
事務局:林 惠美
✉emi814@sound.ocn.ne.jp

8 月環境イベントでは久しぶりにパネルシアターを熱演（左）、おおぜいの子どもたちが参加しました（右）。

8 月麻生区役所屋上の太陽光発電設備見学

9 月あさお子育てフェスタ「おひさまと遊ぼう」

10 月寺子屋あさお、ペットボトルで風力発電

11 月あさお自然エネルギー学校

2024 年 1 月 24 日 記

<table>
<tr><td>団体名</td><td colspan="2">かわさきかえるプロジェクト
あさおてんぷら油資源化チーム</td><td>活動年数</td><td>14 年</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>ﾒﾝﾊﾞｰ数</td><td>５人</td></tr>
<tr><td rowspan="3">活動紹介</td><td>活動場所</td><td colspan="3">麻生区内</td></tr>
<tr><td>活動日</td><td colspan="3">不定期</td></tr>
<tr><td colspan="5">活動を始めた背景
きれいな水と空気を未来の子どもたちに残すことを目的に「台所から地球温暖化ストップ！」をテーマに一般家庭から廃食油を回収し、せっけんや BDF にリサイクルする地域内資源循環を実現する。2012 年から菜の花プロジェクトに取り組み、麻生区の農的資源を活かし、資源循環をさらに進め、区民への普及啓発を図る。

活動内容
1. 家庭から出る廃食油の回収とせっけん使用の推進。
2. 菜の花を栽培し、搾油、搾りかすは畑に戻し、油は食用に。残った油は回収してせっけんや BDF にリサイクルする菜の花プロジェクトの推進。「菜の花ボランティア」を募り、播種・除草・刈り取り・選別の作業を行っている。
3. より多くの区民に資源循環の取組みを知らせるため、各種イベントへ参加。
4. 子育て世代に地域資源循環の重要性を知らせるため、親子で楽しめる企画を行っている。</td></tr>
<tr><td>2023 年度のトピックス</td><td colspan="4">2023 年 7 月と 2024 年 2 月に麻生産菜種油を使った親子料理教室を開催、コロナ禍でできなかった「一緒にいただきます」は 2 月より再開した。昨年度に引き続き子ども権利の日の市民事業として、「せっけんおばけとあわあわであそぼう」を 12 月に行った。子育てフェスタや区民まつりにも参加し、菜の花プロジェクトや廃食油回収、せっけんをアピールできた。「せっけんおばけ」とあそぶ企画を活用し、親子で楽しく環境について学ぶ機会を増やしている。</td></tr>
<tr><td>課題</td><td colspan="4">廃食油の回収については、麻生区ホームページに回収のお知らせ掲載と区役所ロビーの使用について協働を継続している。親子企画では麻生区の後援をいただき、広報に協力いただいている。
多忙なチームメンバーが多いため、新たなチームメンバーの増員が大きな課題。菜の花ボランティアの新規参入と定着が課題。</td></tr>
<tr><td>参加上の案内</td><td colspan="4">菜の花ボランティアとチームメンバーは随時募集。一緒に活動しましょう。
■ 会員募集中　■ 体験参加者募集中（受入れ態勢あり）
■ 事務局などのスタッフ募集中　■ 寄付金の受付中
興味のある方は下記へご連絡ください。
地域資源循環や SDGｓ、せっけん学習会へ、講師派遣もします。</td></tr>
<tr><td>代表者</td><td colspan="4">名前　門平きょう子　住所 〒215-0024　麻生区白鳥 1-16-11
電話 988-2282　FAX　同左　E - mail　kado0207@jcom.home.ne.jp</td></tr>
<tr><td>連絡先</td><td colspan="4">名前　林　恵美　住所 〒215-0006　麻生区金程 1-13-22
電話 299-6460　FAX　同左　E - mail　emi814@sound.c.ne.jp
ホームページ https://kaeru.kazekusa.jp/　麻生かえるをクリック</td></tr>
</table>

かわさきかえるプロジェクト　2024 年 1 月
あさおてんぷら油資源化チームです！

地球温暖化は「地球沸騰化」、気候危機は「気候崩壊」といわれるまでになっている中、使用済みてんぷら油の回収をきっかけに、身近なところから生活を見直す人を増やしていきたいと思います。

菜の花プロジェクトを推進し、なたね油を活用したイベントで、地域の市民へのアピールを継続します。

～リサイクルせっけん「きなりっこ」～

よく泡立てて使うのが「コツ」

NPO 川崎市民石けんプラントが作るリサイクルせっけん「きなりっこ」は学校給食の食器洗いにも使われています。まずは台所で使ってみてください。せっけんの良さは油汚れに強いこと。台所回り、特に換気扇のべとべと汚れもきれいになります。

少量の水に振り入れて、スポンジでよく泡立て、この泡で食器を洗いま

2023 年秋　菜種の播種と生育状況

夏の猛暑で、古沢の畑の雑草が伸び放題、人の背丈ほどにもなってしまい、9 月の除草は大変な作業でしたが、2023 年 10 月に、古沢の鈴木さん、東百合丘の島貫さん、早野のはぐるまの会の圃場、千代ヶ丘・虹ヶ丘・王禅寺・東百合丘のこども文化センターの庭、宮前区の吉岡さんの畑に播種できました。柿生こども文化センターにも苗を植える予定です。こども文化センターでの取り組みも 5 センターに広がっています。

菜種苗は順調に生育しています。11 月～12 月の間引き作業は雑草取りも兼ねて行いました。東百合丘の圃場では、菜種の株間にたくさんの落ち葉を入れました。保温と雑草抑制、そして落ち葉は堆肥にもなります。

寒い時期は菜の花の成長は止まりますが、春 3 月にはむくむくと育ち、4 月にはたくさんの花を咲かせてくれるでしょう。4 月の満開の菜の花を楽しみにしています。今期も見学会を計画します。

9 月古沢の畝づくり

東百合丘の種まき

虹ヶ丘こぶん　種まき

王禅寺こぶん　種まき

落ち葉でふかふか

当プロジェクトの活動にご協力いただいている方に発送しています。

【問合せ先】〒215-0006 麻生区金程 1-13-22　かわさきかえるプロジェクト事務局　林　惠美
Tel/Fax299-6460　emi814@sound.ocn.ne.jp

2024 年 1 月 23 日 記

団体名	グループ「せっけんの家」	活動年数	29 年
		ﾒﾝﾊﾞｰ数	54 名

活動紹介

活動場所	神奈川県内
活動日	講座は企画に応じて開催。 世話人会(スタッフ会議)は月 1～2 回

せっけんを使って
・・・ 守ろう 水
つ な げ よ う 未 来
に・・

活動を始めた背景

♫ うさぎ追いし彼の山～、小鮒釣りし彼の川～ ♪♪

この半世紀、山は開発の波に呑み込まれ、どんどん自然が少なくなっています。

合成洗剤の登場で、70 年代に日本全国の川が泡だらけになったこともありました。
そのころ、合成洗剤の影響で皮膚障害を起こす人が増え、医師から合成洗剤の使用をやめて**せっけん**を使うようにしなさいと多くの人が言われました。

私たちが洗濯に使う洗剤には、せっけんと合成洗剤があり、違いがあります。
せっけんは植物や動物の油に薬品を反応させただけのもので、人体に優しく、自然界に流れ出ても 1 日で分解されます。
合成洗剤は石油が精製される過程でできたナフサを原料としていて、その成分の合成界面活性剤(直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム他 9 種類)は環境省で定めた PRTR 制度で、人の健康を損ない、動植物の生息に支障をきたすという、第一種指定化学物質にあげられています。
私たちは、人体にも環境にも負荷のかからないせっけんを使って、未来の子どもたちに今ある地球の環境を残したいと活動をスタートしました。

活動内容

・ せっけん出前講座 ・ 学習会 ・ せっけん作り ・ 会報紙「せっけんカフェ」発行
・ 湧水めぐり ・ 里山フォーラム参加 他

2023 年度のトピックス

出前講座に加え、今年度は湧水めぐりで「引地川」の水源を目指して大和駅～鶴間駅まで散策。思いがけず嬉しいもの(〇〇〇〇の実)もお土産にできました！
また、「あさお福祉まつり」に初出店しました。きなりっこの紹介はもちろん、香害について説明しアンケートも実施しました。

グループ「せっけんの家」のホームページ
https://sekkennoie.sakura.ne.jp/

課題	川崎市内の小学校の給食現場や一般家庭やレストランからでた使用済み食用油を原料とした「きなりっこ」を私たちは多くの方々にその優位性と使いこなし方を伝えてきました。 　香りが持続する柔軟剤等で、頭痛や具合が悪くなる、等の影響で体調不良になる方が増えています。現在の大きな課題です。人によっては良くない影響を及ぼす可能性のあるものを選ばないことしか術はないのでしょうか？
参加上の案内	貴会からのいつものメッセージをご記入ください。 ☑ 会員募集中　☑ 体験参加者募集中（受入れ態勢あり） ☑事務局のスタッフ募集中　☑ 寄付金の受付中 興味のある方は下記へご連絡ください。
代表者	名前　藤原 美子　住所 〒215－0031 麻生区栗平 1－4－37 電話 ＆ FAX 044－987－2084　ケイタイ 090-5825-1770 E-mail ypyf311b@jcom.home.ne.jp
連絡先	名前　村山 美香子　住所 〒215－0036 麻生区はるひ野 4－18－4 電話 044－299－7730　ケイタイ 090－6018－2114 FAX 044－299－7731 ホームページなど E - mail mt.village1129@kyp.biglobe.ne.jp HP https://sekkennoie.sakura.ne.jp/

団体名	麻生ヤマユリ植栽普及会	活動年数	１５年
		ﾒﾝﾊﾞｰ数	１６名

活動紹介	活動場所	植栽活動は麻生区内６カ所。　会議は区役所・会議室
	活動日	植栽活動：各植栽地で月１～２回。　定例会儀：隔月第３木曜日。
	＜目的＞ 麻生区の花ヤマユリを地域で活動しているボランティア団体と連携しながら、ヤマユリの植栽を促進、支援し、そのノウハウの蓄積と普及を推進すること。 ＜活動内容＞ ＊月１～２回、　麻生区内の緑地・公園に赴き、ヤマユリの植栽・保全活動を行っている。 現在の主な植栽地（協働団体）は①岡上・梨子ノ木緑地（かわさき自然と共生の会） ②王禅寺すぎのき緑地、籠ロノ池公園、下麻生まつのき緑地（木こりの会）　③万福寺・おやしろ公園④区役所中庭と市民館裏⑤王禅寺公園（公園愛護会）⑥百合丘第３公園など。 ◎４月２５日、麻生市民館で「育苗講習会」を開催する。　ヤマユリの育て方の講義と実演を行う。また、会員が発芽させた幼苗を参加者に無料で配布します。 ▲毎年恒例のヤマユリの開花展示会を昨年の６月３０日から７月５日まで市民館ギャラリ―で開催した。入場者は、過去最高の６７３名に達し、区民のヤマユリに対する関心の高さが示された。開催中に百合小の３年生１３０名が校外学習として来訪した。 ▲１１月２４日には、ヤマユリの植え替え講習会を市民館で昨年に続き、開催した。今回の受講者はヤマユリに関心の高い方が多く、活発な質疑応答もあり、大変盛り上がった講習会になった。	
トピックスなど	▲麻生老人福祉センターから、ヤマユリの育苗の講習会の開催依頼があり、昨年５月８日に実施した。参加された１０名の方々は、ヤマユリの一般知識と育苗方法などを熱心に学習されていた。 ▲新百合ＯＰＡ1 階ロビーで６月２１日から２８日まで、普及会の活動のパネルと会員が育てたヤマユリの開花鉢を展示した。ヤマユリの普及活動の一環として実現した。	
課題	今までは、開花展示会用に球根を独自のルートで入手していたが、昨年から、それが困難となった。会員が球根を育成する事になり、新たな負担が増えたが、今年の展示会用には、昨年１１月に成球根を植え付けることが出来た。	
参加上の案内	麻生区に在住し、在勤　・在学の方ならどなたでも参加できます。 年会費：無料 ☑ 会員募集中　　☑体験参加者募集中（受入れ態勢あり）★賛助会員として登録可 興味のある方は下記へご連絡ください。	
代表者	▲松田　肇　　住所：麻生区王禅寺東３-８-４０ 電話：　090-7904-3112	
連絡先	▲事務局　山田　栄二　電話：090-2565-3390　E-mail:ginjirou10@mte.biglobe.ne.jp ▲麻生区の HP のトップページ柿丸君の下、　区の花ヤマユリをクリックすると当会の詳しい内容が見られます。	

麻生ヤマユリ植栽普及会

※一年を振り返って

★百合小の３年生が校外学習で来訪　開花展示会（６月３０日）

★見事に開花　区役所中庭（７月６日）

★下草刈り作業　　すぎのき緑地（６月７日）

★作業後の記念写真　すぎのき緑地（１２月２日）

★「ヤマユリ植え替え講習会」麻生市民館　（１１月２４日）

団体名	万福寺人参友の会	活動年数	23.5 年
		ﾒﾝﾊﾞｰ数	20 人

活動紹介	
活動場所	平素は各会員の栽培地。種の配布と「品評会・試食会」は麻生市民館
活 動 日	種の配布は６月。「品評会・試食会」は 12 月下旬

《活動趣旨》

万福寺鮮紅大長人参（通称：万福寺人参）は、現在の麻生区万福寺とその周辺地区のかつての特産品で、全国野菜品評会において昭和 29 年から５年連続で日本一になりました。会ではこの人参の栽培と普及の活動を通して、人参を生み出した人々の歩みや風土を深く理解し、次の世代にも伝えていきたいと考えて活動しています。

《第 23 回万福寺人参品評会-私の万福寺人参を語り合う会-　12 月 18 日開催》

品評会は、例年「里山フォーラム in 麻生・幹事会」のご支援のもとに開催しています。従来は品評会と併せて試食会も開催して、その年の栽培と収穫を祝いあう“収穫祭”のような催しでしたが、第２１回よりコロナ禍のなか、感染症対策を重視して試食会は中止してきています。

今年度は、この人参の種蒔き適期（=７月中旬）と酷暑続きの異常気象が重なって、栽培の最初の関門と言われる「種蒔き⇒発芽」がスムーズに越えられないという情報がたくさん寄せられました。

このために、品評会への出品者数の大幅減少が懸念されましたが、今年度も３０近い個人・グループからの出品があり、品評会事務局をホッとさせてくれました。なお、出品の際に提出するカードの「種蒔き月日」欄に８月の表記が例年になく多く、２回目、３回目の蒔き直し苦労を伝えていました。

品評会の審査対象では、残念ながら今年度も「味覚賞」は設けず、その他は厳正な審査のもと次の各賞受賞者が決まりました（審査委員=成松次郎、長瀬和徳、岩本陽児、山本奈保美、齊藤誠の各氏）。

最優秀賞ー古川美賀（黒川東）
姿（ルックス）賞ー岩渕佳子（黒川東）
色彩賞―小林貴也（黒川東）
香り賞ー二見萌菜(明治大学生田校舎農場)
努力賞―金程小学校２年（校内）
努力賞―田中陸斗(明治大学生田校舎農場)
ユニーク賞ー深沢祐二（黒川東）

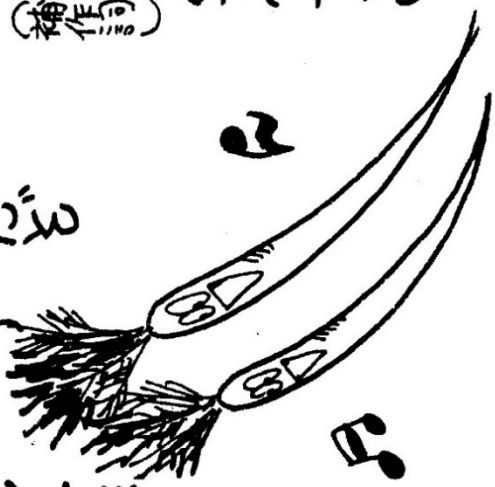
審査中の別室での「語り合う会」は大いに話が弾みました。酷暑ならではの工夫の数々を真剣に聞き合います。

夏の絶望から怒涛の巻き返しをやり遂げた方々、明治大学生の６月の種蒔きには納得と、来年に向けて栽培へと駆り立てられる時間でした。

種の配布	栽培を希望する人への種の斡旋・配布(有料)を６月におこなっています。
課題等	①麻生区内の学校で取り上げてくれることを重視しています。 ②この人参の遺伝性質と風土性を維持継承するため、地元採種の経験を蓄積したい。
参加案内	■初めて栽培する人歓迎　■事務局スタッフ募集中　■寄付などの受付
連絡先	名前　岡本 剛介　電話 090-9158-0451　Ｅメール go-okamoto@ymobile.ne.jp

万福寺人参の歌

作詞 あらかわ ひろし
作曲（補作詞） ちばこうすけ



一、真っ赤な太陽 照る畑
たくましく たくましく 芽が出だす
人参つくれば 心が晴れる
つくろう万福 福がくる
※（一・十・百・千・万福寺 大事人参

二、伸び伸び 育て
ぽっかり ぽっかり ながながと
人参 だくれば 大きくなれる
つくろう万福 福がくる
※（繰り返し

三、村を興こした人参の
効いてもらえる 仕方よう
心あれもて あるがつくる
元気に万福 福がくる
※（繰り返し

2024 年 1 月 25 日 記

団体名	麻生区こども会連合会	活動年数	41 年
		ﾒﾝﾊﾞｰ数	30 名

活動紹介	活動場所	川崎市内および麻生区内
	活動日	年間を通して子ども会の行事を開催
	活動を始めた背景 **学校や家庭以外でも、仲間を作り助け合うことの大切さを学ぶ場としてずっと活動しています。みなさんの子どものころからある子ども会ですが、伝統だけでなく、現在に見合った活動も模索しております。** 活動内容 **・スポーツ活動「少年野球大会」「羽根つき大会」など** **・区民祭や福祉祭りへの出店** **・町のボランティア活動** **・八ヶ岳キャンプや遠足など**	
2023 年度のトピックス	活動については、ほぼコロナ前まで回復させています。 しかし、懇親会などは油断なく慎重に判断しています。	
課題	役員の体制として、女性が多く活躍していますが、女性だけでなく男性も加わってもらえることが望ましいです。 女性活躍も強く推進されている中で、男女の区別なく青少年育成に志のある方を探しています。	
参加上の案内	役員の世代交代が始まっています。ベテランと新規役員が混ざることで、古き良きものと時代に合った新しいものを組み合わせて活動しています。 地域貢献に興味のある方は、下記へご連絡ください。	
代表者	名前：本田　知生 住所：〒215-0035　川崎市麻生区黒川 681-1 ｶﾞｰﾃﾞﾝｼﾃｨｰ若葉台 104 電話：080-3085-4311 FAX：044-980-0504 E - mail：t.honda104@gmail.com	
連絡先	同上	

団体名	麻生区地域教育会議	活動年数	２９年
		ﾒﾝﾊﾞｰ数	３４名

活動紹介	活動場所	主に麻生市民館
	活動日	役員会・運営委員会月１回、子ども会議１１月２３日

活動を始めた背景

１９８０年代、校内暴力で荒れる学校や少年事件が多発し、川崎でも深刻な事件が起き、教育の危機が指摘されました。市民の声をもとに、川崎では地域からの教育改革を目指して、「地域教育会議」が提案され、行政区や中学校区に順次設置されました。麻生区地域教育会議では、地域と学校・行政がともに協力し、子どもがいきいき育つまち、大人が楽しく学べるまちを目指し活動すると共に、区内中学校区での地域学校協働本部に向けて協力しています。

活動内容

・教育を語るつどい（麻生の寺子屋）
　中学校区（地域学校協働本部）交流会・おとな会議（子ども会議をうけて）
　地域の寺子屋交流会（市民館と協活）
・子ども会議（青空子ども会議）　開催場所：黒川青少年野外活動センター
　「かわさき子どもの権利条例」に基づき、子ども達が自由に考え、
　表現し、交流する場
・さんりんしゃ（広報紙）発行

2023年度のトピックス

行政区としては、３つの情報交換・交流の場を開催。それぞれの立場の課題についても話し合う機会を設けることができました。

また、第２回子ども会議を開催し、多くの子どもたちに参加してもらうことができました。子ども達のいきいきとした笑顔や声、大きい子どもたちが小さい子どもたちの意見を引き出し真剣にまとめていく姿が印象的でした。子どもたちが、自主的に考え、実践していくことの大切さを感じました。本年度は区長にも参加いただき区長の前で提言として自分たちの考えを発表できたことは大きな財産となったことと思います。次年度も開催に向けて活動をすすめていきます。

課題

行政の制度の変更等の情報共有や対応に時間がかかる。
活動を継続し、発展していくためには、参加団体との連携強化と共に、地域教育会議の根幹である住民委員をいかに増やしていくかが課題。

参加上の案内

14 期住民委員の募集は終了しておりますが、興味のある方は下記へご連絡ください。

代表者

名前　井上俊夫　（議長）

連絡先

名前　麻生市民館生涯学習支援課地域教育会議担当
住所 〒２１５－０００４　麻生区万福寺１－５－２麻生市民館内
電話 ９５１－１３００　　FAX　９５１－１６５
E - mail　88asaosi@city.kawasaki.jp

<table>
<tr><td>団体名</td><td colspan="2">公益財団法人
かながわトラストみどり財団</td><td>活動年数</td><td>３８年</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2"></td><td>ﾒﾝﾊﾞｰ数</td><td>9,792 名
（2023/10 現在）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">活動紹介</td><td>活動場所</td><td colspan="3">神奈川県内各地域</td></tr>
<tr><td>活動日</td><td colspan="3">定例活動やイベントなど年間を通して活動</td></tr>
<tr><td colspan="4">当財団はかながわのナショナル・トラスト運動を推進し、神奈川のみどりの保全と創造に関する様々な活動を展開しています。</td></tr>
<tr><td>最新トピックスなど</td><td colspan="4">■地域活動を支援する「緑の実践団体」登録できます
自治会や市民団体が行う地元地域の公園や緑地など身近な自然を守るための活動に対して、奨励金や助成金の交付、研修等の開催を行っています。
■ナラ枯れ薪の有効活用
県内各地でドングリの木が、突然まとまって枯れる「ナラ枯れ」が問題となっています。このナラ枯れ対策として冬季中に薪型に細断し林内に堆積し、乾燥処理を行っています。割るとすぐに虫が這い出てきますので効果を実感できます。半年以上、乾燥を与えたものは薪として活用できるため、緑地保全への寄附をいただくことで活用いただける方へお譲りしています。また、スウェーデントーチ処理も行っています。詳細は財団 WEB サイトを確認ください。
■機関誌ミドリで情報発信
1986 年に創刊し、年４回発行している自然環境に関する情報誌です。動植物の生態から自然景観、森林・里山のボランティア活動やイベントなどを取り上げています。多くの方にトラスト運動を周知し、自然環境の大切さを知っていただくことを目指しています。トラスト会員の皆さまにはご自宅に郵送されます。</td></tr>
<tr><td>課題</td><td colspan="4">会員になると無料の自然観察会や優待施設、会費は寄付金控除の対象となりますので、ぜひトラスト会員にご登録ください。トラスト会員募集中です！</td></tr>
<tr><td>参加上の案内</td><td colspan="4">
<table>
<tr><td colspan="2">トラスト会員（普通会員）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">個人</td><td>大人 2,000円</td></tr>
<tr><td>中・高校生 1,000円</td></tr>
<tr><td>小学生 500円</td></tr>
<tr><td>家族</td><td>1家族 3,000円</td></tr>
<tr><td>法人/団体</td><td>1口 10,000円</td></tr>
</table>
＋
<table>
<tr><td colspan="2">トラスト緑地保全支援会員（任意加入）</td></tr>
<tr><td>個人/家族</td><td>3,000円</td></tr>
<tr><td>法人/団体</td><td>1口 10,000円</td></tr>
</table>
会費は緑地保全や地域の緑化のほか、財団の運営に充てられます。
１年会員　年ごとに会費を納めます
６年会員　５年分の会費を１回でお払いいただくと６年間会員になれます。
特典：機関誌４回、優待施設、イベント等</td></tr>
<tr><td>連絡先</td><td colspan="4">名前 （公財）かながわトラストみどり財団事務局　住所 〒220-0073 横浜市西区岡野 2-12-20
電話 045(412)2525　E-mail：midori@ktm.or.jp
WEB など　ktm.or.jp　facebook　Twitter 有</td></tr>
</table>

名称	**川崎市役所 環境局 総務部企画課**
活動紹介	川崎市では、令和４年３月に改定した**「生物多様性かわさき戦略～人と生き物つながりプラン～」**に基づき、様々な取組を進めています。 生物多様性かわさき戦略ホームページ https://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000134692.html 市制 100 周年記念プレ事業として、身近な生き物や緑に目を向け、生物多様性への意識の醸成を図ることを目的として、昨年７月から９月にかけてスマートフォンによる生き物探しイベント**「アプリで生き物探し！夏休み特別クエスト in かわさき」**を実施しました。多くの皆様に参加いただき、**１万２千件**を超える投稿をいただくことができました。 本イベントで市民の皆様から投稿いただいた生き物の写真を活用し、電子媒体の**デジタル図鑑「みんなで見つけた！かわさきの生き物図鑑」**を作成しました。小中学生が使う GIGA 端末上で読むことができるよう、デジタル図鑑としています。 **「みんなで見つけた！かわさきの生き物図鑑」**はこちら 今年も、市制１００周年記念事業として、全国都市緑化かわさきフェアの開催期間に合わせて、身近な生き物の写真投稿を募集する取組を予定しています。ぜひ御参加ください。 また、イベントで活用したスマートフォンアプリ「バイオーム（Biome)」は通年で募集を行っております。ぜひダウンロードして御利用ください。 **バイオーム**（Biome）のダウンロードはこちら
連絡先	住所 〒２１０－８５７７　川崎市川崎区宮本町１番地 電話 ０４４－２００－３７２０　FAX ２００－３９２１ E－mail 30kikaku@city.kawasaki.jp

川崎市役所 建設緑政局 緑政部

川崎市では、みどりに係る様々な取組を連携して進めています。

建設緑政局	担当している内容
総務部　企画課（緑政計画）	・公園、緑地等に係る施策の企画、調整及び計画
緑政部　みどりの管理課	・公園、緑地等に係る管理及び調整 ・都市公園台帳 ・公園、緑地等の財産管理の総括 ・公園施設の設置及び管理許可 ・緑化センター ・公益財団法人川崎市公園緑地協会
みどりの事業調整課	・公園、緑地等に係る事業の総合調整及び統括 ・公園、緑地等への民間活力の導入に係る調整 ・公募対象公園施設設置等予定者選定委員会 ・公園緑地等整備計画推進委員会、多摩川プラン推進会議
みどり・多摩川協働推進課	・民有地等の緑化及び樹木等の保全 ・緑についての普及啓発 ・公園、緑地等の協働型事業の推進に係る企画及び調整 ・公園、緑地等の利用活性化 ・多摩川の市民利用の推進及び広域連携 ・都市計画法に基づく開発行為等に伴う公園及び緑地に係る協議及び指導 ・都市計画施設の公園、緑地等における建築等の規制及び建築許可
みどりの保全整備課	・公園、緑地等の整備計画 ・緑の保全に係る地区の指定等 ・工事設計等の調整及び総括 ・工事の設計及び監督 ・公園、緑地等の維持管理についての調整 ・多摩川管理事務所及び関係機関との連絡調整
霊園事務所	・所の維持管理、緑ヶ丘霊園・早野聖地公園の管理運営
夢見ヶ崎動物公園	・園の維持管理、動物の収集、飼育及び展示、調査研究
生田緑地整備事務所	・所の維持管理、生田緑地の管理運営
緑化フェア推進室 Green For All KAWASAKI 2024	・全国都市緑化かわさきフェアの開催に係る企画及び総合調整 秋 令和 6 年 10／19～11／17　春 令和 7 年 3／22～4／13
富士見・等々力再編整備室	・富士見公園及び等々力緑地に係る整備計画及び調整 ・富士見公園及び等々力緑地の整備 ・富士見公園及び等々力緑地の管理運営の調整
各区役所道路公園センター	・公園、緑地等の協働・利活用推進 ・公園、緑地等の維持管理

川崎市ホームページでは、みどりに係る事業内容について、ご紹介しています。
https://www.city.kawasaki.jp/530/page/0000028092.html

連絡先
住所 〒２１０－８５７７　川崎市川崎区宮本町１番地
電話 ０４４－２００－２４００　FAX ２００－３９２１
E-mail 53mikyo@city.kawasaki.jp

2023(令和5)年度の里山フォーラム in 麻生から

里山フォーラム in 麻生の紹介

●2001 年に各活動団体から委員を募り実行委員会として発足。

＜こんな思いで＞

◆麻生区の足元の水と緑を、老若男女誰もが関わる里地(農地)里山(樹林地)として、その環境と文化をはぐくみたい。新しいライフスタイルを模索しながら、都市化が進む中にあっても、緑や環境を守り、持続可能な未来を目指したい。

＜こんなことをだいじにしながら活動＞

■交流：各活動の場に関わる人々や団体、学校、行政機関が交流し、課題の共有を図る。

■学習：里地・里山文化を再発見しつつ現在の活動を通して人材を育成する。また、流域を意識し、生物多様性を目指す。

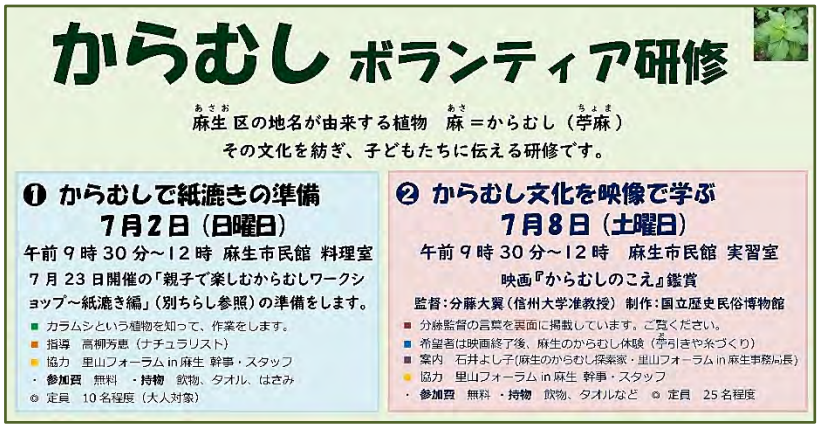
■情報：これからの自然と人間の共生を考え、実践していくための情報の受発信をする。

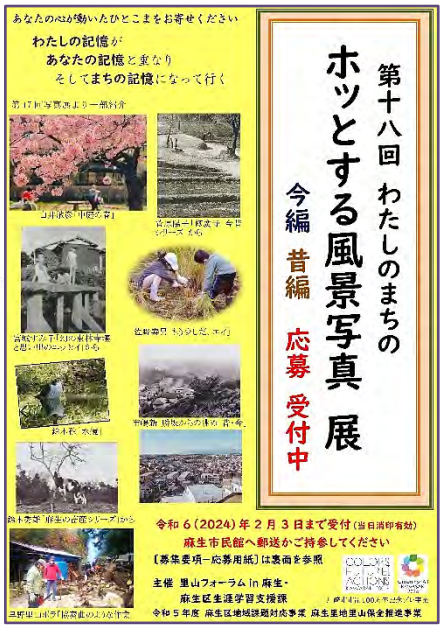
●実施事業　＊里地里山カフェ塾（からむし-苧麻、万福寺人参、麦）　＊里地里山ナチュラリスト養成講座　＊あさお里山こどもクラブ　＊わたしのまちのホッとする風景写真展-今編、昔編　＊“里山フォーラム in 麻生”

麻生区地域課題対応事業-麻生里地里山保全推進事業(担当:麻生区生涯学習支援課)として開催。事業運営を幹事・スタッフが力を合わせて担うボランティア活動です。

幹事会 代表 堂前雅史 事務局長 石井よし子

今年度のちらしから





里地里山ナチュラリスト養成講座では知って学んで実践につなげようと活動現場を探訪します。

今年度はようやくの通常開催のフォーラムです。「フォーラム資料集 23」も小学校、団体施設とも体験学習や活動内容が伝わるようにとカラー冊子にしました。紹介カードの行間からはそれぞれのあつい気持ちが溢れ伝わって来ます。お互いに知り合い、気にかけ合うと知恵や勇気やあたたかい気持ちが湧いてきます。原稿をお寄せいただいた皆々様に深く感謝します。多くの方のお目に触れ読んで頂きますように。〔冊子編集・入稿　石井よし子〕

“2024 里山フォーラム in 麻生（第 23 回）”

資料集 23

発行日　2024(令和 6)年 2 月 23 日
編集・印刷・製本　里山フォーラム in 麻生

※本資料集の内容を参考にする場合はご一報頂ければ幸いです。
無断転用などはご遠慮ください。→ 連絡先　里山フォーラム in 麻生
E-mail satoyamaforum@gmail.com　TEL 070 - 6426 - 6123

令和 5 年度 麻生区地域課題対応事業-麻生里地里山保全推進事業
主催 里山フォーラム in 麻生・麻生区生涯学習支援課(麻生市民館)
麻生市民館 TEL 044-951-1300